



ウェブフック

- [ウェブフックについて](#) (1 ページ)
- [ウェブフックの設定](#) (1 ページ)
- [ウェブフック通知の送信](#) (2 ページ)

ウェブフックについて

ウェブフックは、2つのシステム間で HTTP を介して通信する方法であり、指定したイベントによって開始できます。Cisco Catalyst SD-WAN ポータルは、ファブリックに関するイベント通知を送信するためのウェブフックの使用をサポートしています。Cisco SD-WAN ポータルの **[Administration Settings]** エリアのタブでウェブフックを設定および管理できます。

ウェブフックの設定

手順

ステップ 1 Cisco SD-WAN ポータルメニューで **[Administration]** をクリックし、**[Admin Settings]** を選択します。

ステップ 2 **[Webhooks]** タブを選択します。

ステップ 3 **[Configure Webhook]** をクリックします。

ステップ 4 次の情報を入力または選択します。

- スマートアカウント名
- バーチャルアカウント名
- ウェブフックエンドポイントの URL (https:// で始まる)
- 承認タイプ: 基本 (ユーザー名/パスワード) またはなし

ステップ 5 **[Add]** をクリックします。

定義済みのウェブフックのテーブルが表示されます。

ウェブフック通知の送信

手順

ステップ1 定義済みのウェブフックのテーブルで、編集するウェブフックを右クリックして **[Send]** を選択します。

ステップ2 ウェブフックサーバーに送信するウェブフックのプレーンテキスト通知を入力し、**[Send]** をクリックします。
通知がウェブフックサーバーに送信されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。